

令和5年度 大東小学校関係者評価書

| 観点                              | 重点目標  | 評価指標（目指す児童像）  | 方策・手立て  | 自己評価 |   | 学校関係者評価 |  |
|---------------------------------|---|---|---|------|---|---------|--|
|                                 |   |   |   | 学校   | 総合  | 評価      | コメント   |
| 知<br>に<br>関<br>す<br>る<br>内<br>容 | 1 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着を図る。                          | 意欲的に授業に参加する児童<br>＜アンケート＞  | ○ 児童に興味・関心をもたせる工夫をするとともに、習熟や補充の時間を確保することで基礎的・基本的な学習内容を確実に身に付けさせる。<br>・児童に興味関心をもたせる工夫<br>・習熟や補充の時間の確保<br>・T Tによる個別指導の工夫<br>・学力テスト等の分析に基づく指導の重点化<br>・学習指導要領に基づく学習指導の改善  | 3.2  | 3   | 3       | 学力の向上について、一律の引き上げは難しいが、努力を続けてほしい。タブレットをうまく活用した授業が行われている。今後も、しっかりと使ってほしい。 |
|                                 |   | 算数の単元テストにおいて平均到達率80%以上の児童<br>＜評価テスト＞  |   | 3.2  |   |         |  |
|                                 | 2 望ましい学習習慣の定着を図る。<br>※ 学びの約束の徹底<br>※ 評価方法は全てアンケート | 授業の準備をきちんとし、チャイム黙想をする児童   | ○ 生徒指導を意識した「学びの約束」の徹底及びB B Tの充実を図るとともに、家庭と連携した学習指導を推進することで、望ましい学習習慣を身に付けさせる。<br>・「学びの約束」の意識付けを図る工夫<br>・B B Tの継続的な取組とより効果を上げるための工夫<br>・忘れ物を減らす、なくす指導の徹底<br>・ノートを活用と板書の工夫<br>・時間を意識した丁寧な問題解決活動の工夫<br>・発問の工夫と答え方の指導の徹底<br>・発表の場の設定 | 2.7  | 3   |         |  |
| 話を聞くときは、立腰の姿勢で静かに最後まで聞く児童       |   | 2.5   |   |      |   |         |  |
| 質問には、はっきりと返事や反応を返す児童            |   | 2.9   |   |      |   |         |  |
| ノートを素早くていねいに書く児童                |   | 2.9   |   |      |   |         |  |
| 印を付いたり、図や絵を描いたりして、問題を正しく理解する児童  |   | 2.8   |   |      |   |         |  |
| 3 読書活動の充実を図る。                   | 自分の考えをしっかりと表現する児童                                 | ○ 本に親しませる工夫を、授業とも関連付けながら積極的に行うとともに、家庭と連携した読書指導を推進することで、望ましい言語環境と読書習慣を身に付けさせる。<br>・読書への興味・関心を高める工夫<br>・学校図書館の利用促進を図る工夫<br>・朝の時間や昼休みの効果的な運用<br>・家読の推進、ノーマディアデーの活用 | 2.7   | 3    | 各学年で読書貯金通帳の活動や委員会活動の図書室利用を促す活動が浸透してきた。家読・ノーマディアデーで家庭での読書を推進してほしい。 |         |  |
|                                 | 目標冊数を読む児童（目安として 低…100冊 中…80冊 高…60冊）<br>＜記録＞       |   | 2.7   |      |   |         |  |

| 観点                                | 重点目標                                  | 評価指標（目指す児童像）   | 方策・手立て  | 自己評価 |  | 学校関係者評価 |   |
|-----------------------------------|---------------------------------------|--|---|------|--|---------|---|
|                                   |                                       |  |   | 学校   | 総合   | 評価      | コメント  |
| 徳<br>に<br>関<br>す<br>る<br>内<br>容   | 1 希望とやる気が育つための教育活動の推進と支援体制の構築を図る。     | 自分のことを好きな児童<br>＜アンケート＞   | ○ 生徒指導の三機能を生かした教育活動及びキャリア教育を児童の発達段階に応じて系統的に推進する。<br>・生徒指導の三機能（自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の場）を生かした教育活動と児童の発達段階に応じた具体的な指導の推進<br>・児童の主体性を生かした特別活動（特に係活動や委員会活動）の工夫<br>・キャリアパスポート等、中・高との連携を図ったキャリア教育の推進<br>・「地域の人材・素材」を活用した授業の実践 | 3    | 3  | 3       | 自己肯定感が高い児童が多くみられることは素晴らしい。月の重点目標と委員会活動を結び付け、児童の主体性、積極性を伸ばそうとしていた。今後も地域人材を活用した活動を積極的に実施し、望ましい職業観や将来の夢につなげてほしい。 |
|                                   |                                       | 当番や委員会の仕事を主体的にする児童<br>＜アンケート＞  |   | 3.2  |  |         |   |
|                                   |                                       | 将来の夢をもっている児童<br>＜アンケート＞  |   | 3.1  |  |         |   |
| 2 規範意識を高め、礼儀と感謝を大切にできる心と態度の育成を図る。 | 廊下の右側を歩く児童<br>＜アンケート＞                 | ○ 教職員が率先して模範を示すとともに、教職員間の共通理解に基づく共通指導を通じて、礼を重んじる態度と感謝の心、規範意識の醸成と規律遵守への指導に努める。<br>・教職員の率先垂範と教児同行<br>・廊下歩行や無言清掃などのルールに関する共通指導の徹底<br>・靴並べやあいさつ、言葉遣い（呼び方）などのマナーに関する共通指導の徹底<br>・良いところや成長の積極的な称賛 | 3.1   | 3    | 児童自身がきまりを決めることは、きまりを守ろうとする意識を高める効果があるのでよい取り組みである。生徒指導上の諸課題について、地域や家庭と連携して取り組む必要がある。          |         |   |
|                                   | 無言で掃除をする児童<br>＜アンケート＞                 |  | 2.8   |      |  |         |   |
|                                   | かかとをそろえ、靴を並べる児童<br>＜委員会調査＞            |  | 2.9   |      |  |         |   |
|                                   | 自ら進んであいさつや感謝の言葉を使うことのできる児童<br>＜アンケート＞ |  | 3.1   |      |  |         |   |
|                                   | 「さん」をつけて名前を呼ぶ児童<br>＜アンケート＞            |  | 3   |      |  |         |   |
| 3 互いに認め、高め合うことのできる児童の育成を図る。       | 誰とでも同じように仲良くする児童＜アンケート＞               | ○ 人権意識やソーシャルスキルを高める教育活動の工夫を行うとともに、命の教育やいじめの防止等のための対策の推進を図る。<br>・人権感覚を育てる授業作りの工夫<br>・インクルーシブ教育及び特別支援教育の推進<br>・いじめ防止の体制作り<br>・命を大切にできる教育の推進  | 3.1   | 3    | アンケート→相談→チャレンジ会議の時間を毎月確保し、実態の共通理解を図るようにしている。諸課題について、チームで取り組んでいる。地域とも連携した取り組みも考えられるのではないだろうか。 |         |   |
|                                   | いじめ（意地悪や悪口を含む）をしない児童<br>＜アンケート＞       |  | 3.2   |      |  |         |   |

| 観点                              | 重点目標                            | 評価指標（目指す児童像）                           | 方策・手立て  | 自己評価 |    | 学校関係者評価 |   |  |   |
|---------------------------------|---------------------------------|--|---|------|----|---------|---|--|---|
|                                 |                                 |  |   | 学校   | 総合 | 評価      | コメント  |  |   |
| 体<br>に<br>関<br>す<br>る<br>内<br>容 | 1 時を意識し、基本的な生活習慣を身に付けた児童の育成を図る。 | 早寝・早起きをし、朝ごはんを食べて登校する児童<br><アンケート>     | ○ 「早寝・早起き・朝ごはん」と「正しいメディアとの接し方」を推進し、 <b>基本的な生活習慣及び時間を意識した基本的な生活習慣の定着に努める。</b><br>・家庭や地域と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」と「正しいメディアとの接し方」の推進～時を守る意識の定着<br>・弁当の日・夏の親子ふれあいごはんづくりや給食感謝週間、栄養教諭を活用した食育の推進<br>・参観日や学校保健委員会の効果的な活用 | 2.9  | 3  | 3       | SNSの利用が生活にも影響している点は心配である。<br>家読・ノーメディアデーの取組は家庭との連携が不可欠である。さらに呼びかけを続けてほしい。 |  |   |
|                                 |                                 | メディアの約束を守る児童<br><アンケート>                |   | 2.6  |    |         |   |  |   |
|                                 |                                 | 弁当の日に取り組む児童<br><記録>                    |   | 3.2  |    |         |   |  |   |
|                                 | 2 学年や個に応じた体力づくりの推進を図る。          | 体育の時間に一生懸命運動する児童<br><アンケート>            | ○ <b>体育科授業及び体力向上プランに基づく取組の充実を図るとともに、日常的な外遊びや季節に合った運動等を通して運動習慣の定着とたくましい心身の育成に努める。</b><br>・運動時間の確保と内容の充実<br>・体力テストの結果を生かした取組<br>・外遊びの奨励と季節に合った運動（持久走、縄跳び等）の充実   | 3.5  | 4  |         |   | 体動かすことが好きな児童が多く、積極的に運動に取り組んでいる点は大変評価できる。<br>体力テストにおいてもA判定の児童が多く大変良い。 |   |
|                                 |                                 | 体力向上のための運動に積極的に取り組む児童<br><アンケート>       |   | 3.1  |    |         |   |  |   |
|                                 |                                 | 晴れた日は外に出て遊ぶ児童<br><アンケート>               |   | 3.5  |    |         |   |  |   |
|                                 | 3 日常的な保健・安全指導の充実を図る。            | 毎日元気に登校する児童<br><欠席者数調査>                | ○ <b>健康観察や健康診断、安全点検等の結果に基づく具体的な指導を徹底するとともに、授業における養護教諭等との連携を推進する。</b><br>・具体的な指導と徹底（PTAと連携した対応や周知方法の工夫等）<br>・感染症予防の徹底<br>・性に関する指導やがん教育、薬物乱用教室等の意図的計画的な実施<br>・危機管理体制の確立                                     | 3.2  | 3  |         |   |  | 虫歯の治療率向上については、今後も保護者への啓発を行ってほしい。<br>感染症について引き続き予防に努めてほしい。 |
|                                 |                                 | 自分の体のことを知り、悪いところを進んで治療する児童<br><むし歯治療率> |   | 2.9  |    |         |   |  |   |
|                                 |                                 | けがをせず、安全に気をつけて学校生活を送る児童<br><保健室利用状況>   |   | 3.1  |    |         |   |  |   |

| 観点   | 重点目標                               | 評価指標（目指す児童像）                              | 方策・手立て   | 自己評価 |    | 学校関係者評価 |  |   |  |
|--|------------------------------------|---|--|------|----|---------|--|---|--|
|  |                                    |   |  | 学校   | 総合 | 評価      | コメント   |   |  |
| 教<br>育<br>環<br>境<br>に<br>関<br>す<br>る<br>内<br>容 | 1 小中高一貫教育、保小（大東中央保育園・大東小）連携の推進を図る。 | 近隣の保育園や小学校と連携して教育活動に取り組む学校<br><アンケート>     | ○ <b>中央保育園との合同研修等の充実</b> に努めるとともに、「くしま学」の取組を中心とした串間中学校、福島高等学校との連携を推進する。<br>・研修や連絡会等の実施と内容の充実<br>・合同体験学習等の実施と充実<br>・「くしま学」の実践、充実  | 3.3  | 3  | 3       | 中学校との連携や引継ぎをしっかりと行ってほしい。保育園との合同研修会など充実した活動ができている。保育園との情報共有、相互交流はさらに進めてほしい。 |   |  |
|  |                                    | 市内の中学校、高等学校と連携して串間の人づくりに取り組む学校<br><アンケート> |  | 3.2  |    |         |  |   |  |
|  | 2 地域学校協働活動の推進を図る。                  | 地域と連携して教育活動に取り組む学校<br><アンケート>             | ○ <b>地域の物的・人的教育資源の効果的な活用</b> を図るとともに、 <b>地域全体で児童の学びや成長を支える風土づくりに努める。</b><br>・地域連携担当の配置と地域人材の活用推進<br>・地域行事への参加促進と児童によるあいさつ運動やボランティア活動の実施  | 3.3  | 3  |         |  | 地域の行事に参加できており素晴らしい。<br>授業づくりについては、地域人材の活用、施設の見学等、いろいろと協力をいただいている。 |  |
|  |                                    | 地域に貢献する学校<br><アンケート>                      |  | 3.2  |    |         |  |   |  |
|  | 3 開かれた学校づくりの推進を図る。                 | 前年度の学校評価を生かす学校<br><教育課程>                  | ○ <b>学校評価や働き方改革の趣旨を教育課程の編成やカリキュラムマネジメントに生かす</b> とともに、ホームページや学校からの通信、オープンスクール等による積極的な情報発信に努める。<br>・学校評価を生かした教育課程の改善とカリキュラムマネジメントの工夫<br>・働き方改革の趣旨を生かした教育課程の工夫・改善<br>・ホームページや学校だより等による積極的な情報発信<br>・オープンスクールの計画的な実施<br>○ <b>職員研修の充実や服務規律の徹底等を通して教職員の資質向上に努め、地域から信頼される学校を目指す。</b><br>・授業研究を核とした研修の充実<br>・コンプライアンス研修の実施と充実 | 3.1  | 3  |         |  |   | オープンスクールや参観日、ホームページ、学校だよりの活用で、開かれた学校づくりに向けてよく取り組んでいる。<br>今後も保護者が安心して通わせることができる学校づくりを目指してほしい。<br>大東を変えていくような人材が欲しい。そのためにも子どもたちの学びや成長を大切に、地域を大切にする教育を行ってほしい。 |
|  |                                    | 積極的に情報発信をする学校<br><アンケート>                  |  | 3.3  |    |         |  |   |  |
|  |                                    | 地域から信頼される学校<br><アンケート>                    |  | 3.3  |    |         |  |   |  |